

令和7年度 帯広市・帯広畜産大学  
【フードバレーとから人材育成事業】

## 農業生産者コース「GAPセミナー」実施要領

帯広畜産大学と帯広市では「フードバレーとから人材育成事業」の取り組みの一環として、農業者の方を対象としてGAP認証取得に取り組む意義の周知、幅広い知識の習得を目的としたセミナーを以下のとおり開催いたします。  
なお、所定の要件を満たした方には修了証書を交付いたします。

### 1. 講義内容

	科目名（講義時間）	内容	講師
①	GAP概論（3時間）	GAPで取り組む環境配慮、労働安全、食品安全について解説	一般社団法人日本生産者GAP協会 （株式会社AGIC） 田上 隆多
②	総合的病害虫管理 Integrated Pest Management （1日間） （修了証書交付）	総合的病害虫管理手法の概論（1.5時間）	帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター 准教授 相内 大吾
		農薬の正しい知識と使い方（1時間）	ヨカトコ 宮崎 健太
		IPMの基礎としての植物病害の仕組みについて解説（1時間）	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 中央農業試験場 病虫部予察診断グループ 主査 野津 あゆみ
		総合的病害虫管理手法を用いた事例紹介（1時間）	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 十勝農業試験場 研究部生産技術グループ 主査 東岱 孝司
③	HACCP構築手法（2日間） （修了証書交付）	HACCP 7原則12手順に基づく、HACCP構築研修 ※農畜産業におけるHACCP構築研修となります。	帯広畜産大学畜産フィールド科学センター 業務室長 藤倉 雄司

### 2. 開催日

	日程	科目・時間	会場
①	1月19日（月）	GAP概論（田上） 17:00～20:00	帯広畜産大学講義棟 23番講義室
②	1月23日（金）	総合的病害虫管理 10:30～12:00（相内） 13:00～14:00（宮崎） 14:00～15:00（野津） 15:15～16:15（東岱） 16:15～16:45（質疑応答～講師全員で対応）	帯広畜産大学産学連携センター マルチルーム

③	1月24日（土）	HACCP構築手法（藤倉） 9:00～17:30（休憩1時間有）	帯広畜産大学講義棟 4番講義室
	1月25日（日）		

### 3. 受講対象者

農畜産業、企業、団体、行政機関等に所属する社会人

※「①GAP概論」及び「③HACCP構築手法」は、本学で実施する社会人教育プログラム「農畜産プロフェッショナル経営人材育成プログラム」の受講生も参加いたします。

### 4. 募集人数

①及び②については、30名程度

③については、10名程度

### 5. 受講方法

対面又はオンライン（Zoom）※オンライン受講時のデータ通信料は各自でご負担ください。

### 6. 受講料

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ① GAP概論     | 無料           |
| ② 総合的病害虫管理  | 5,000円（税込み）  |
| ③ HACCP構築手法 | 20,000円（税込み） |

### 7. 修了証書の交付

②及び③の有料講習を受講した方に対し、それぞれ修了証書を帯広市長・帯広畜産大学長名で交付いたします。

### 8. 募集期間

令和7年12月8日（月）～令和8年1月9日（金）

### 9. 申込方法

以下の申込フォームまたはチラシの受講申込書よりお申込みください。

申込フォーム URL : <https://forms.gle/AFhJPumRGKrm8NhSA>



### 10. お申し込み・お問い合わせ

〒080 - 8555 帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学 教務課社会人教育係

フードバレーとかち人材育成事業事務局 担当：和知

TEL：0155-49-5575 E-mail：[f-jinzai@obihiro.ac.jp](mailto:f-jinzai@obihiro.ac.jp)

※12/26～1/4は年末年始休業となりますので、予めご了承ください。

#### 【個人情報の取扱いについて】

- （1）帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- （2）お申込み時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講に関する連絡等の業務及び本学リカレント教育の案内等を行うためにのみ利用します。
- （3）セミナー等をより効果的にするために、講師へ所属機関・氏名を提供することがあります。